



Bank of Japan Oita Branch

## 大分県内の景気動向

大分県内の景気は、回復のペースが鈍化している。

個人消費は、底堅く推移している。観光は、緩やかに増加している。住宅投資は、弱含んでいる。公共投資は、高めの水準で推移している。設備投資は、高水準で推移している。

鉱工業生産は、弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

12月短観における企業の業況感は、わずかに悪化した。

金融面をみると、10月の実質預金(NCD含む)は、前年を下回った。10月の貸出金は、前年を上回った。10月の貸出約定平均金利は、前月を上回った。11月の企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を下回った。

消費者物価指数(大分市、生鮮食品を除く総合、10月)の前年比は、2%台後半となった。

先行きについては、海外経済やエネルギー・原材料価格の動向等が、家計の消費マインドおよび企業の収益動向・資金調達環境・経営行動に与える影響等を注視していく必要がある。

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本銀行大分支店総務課

(TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

〈 景気判断の比較 〉

	前回(2024年11月)	今回(2024年12月)
景気全体 (引き下げ) (5か月振り)	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。	<u>回復のペースが鈍化している。</u>
個人消費 (据え置き)	底堅く推移している。	底堅く推移している。
観光 (据え置き)	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。
住宅投資 (据え置き)	弱含んでいる。	弱含んでいる。
公共投資 (据え置き)	高めの水準で推移している。	高めの水準で推移している。
設備投資 (据え置き) (表現変更)	増加している。	<u>高水準で推移している。</u>
鉱工業生産 (引き下げ) (11か月振り)	横ばい圏内で推移している。	<u>弱めの動きとなっている。</u>
雇用・所得 (据え置き)	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。